

せいめい小委員会報告

2020年9月17日光赤天連総会

- 2020年4月30日： 2020年度第1回せいめい小委員会
 - 緊急事態宣言に対する対応状況確認, リモート観測の現状確認
 - UM日程
 - データアーカイブ, 観測ログの扱いを議論→公開する, UMにてユーザーの了解を得る
- 2020年6月29-30日： 2020年度第2回せいめい小委員会(2020B採択会議)
 - 共同利用は60夜相当
 - 申請: クラシカル7(+1※)件(53.5夜), ToO7件(20.5夜) ※クラシカル1件はToOを含む課題
 - 採択: クラシカル6(+1※)件(50夜), ToO7件(19.5夜)
 - プロポーザル文書様式
 - 次回からPast Observationsで京大時間・共同利用時間を区別できるようにする
 - UM議題
- 2019年9月7日： 2020年度第3回せいめい小委員会
 - 簡易イメージローテータから装置ローテーターへの移行状況
 - コロナ禍により当初予想の2020B共同利用開始時から10月6日へずれ込む見込み
 - KOOLS-IFUのマイクロレンズアレイ・ファイバーバンドルも更新予定, エンジニアリング観測が済み次第, 新パラメーター等をWeb公開予定
 - 2021A公募 → 10月2日公募開始予定, 10月30日締切予定
 - データアーカイブ → 共同利用観測のデータのみSMOKAへ転送, 2020Bのキャリブレーションデータ(バイアス, フラット等)は年内を目処に公開, 気象データの公開も検討する
 - 国外からの公募 → 将来的には受け入れが妥当, 受け入れ方法を検討し, UMなどで議論する
 - リモート観測, キュー観測に向けた整備の進め方
 - 当面はリモート観測はマンパワー的に受け入れ困難, 京大以外から接続する場合のネットワーク構成も検討が必要
 - 最初の段階として手動登録したキューを観測者の監視のもとで実行可能とすることを来年度末頃までの目標としたい